

水戸市議会報

令和3年

3月定例会

No.235

2021年5月1日号

令和3年度当初予算 2,018億円を可決

- 可決した議案 3
- 代表質問 4～6
- 一般質問 7～11
- 常任・特別委員会報告 12, 13
- 令和3年度予算 14, 15



令和3年第1回定例会において、消防本部の名称を「消防局」に変更する議案を可決しました。市民の安全・安心の確保に向け、更なる消防組織の強化が期待されます。(写真は北消防署)

議長就任のあいさつ

議長 須田 浩和

このたび、水戸市議会の第62代議長に就任いたしました。その職責の重さに身の引き締まる思いでございます。

県都水戸市の更なる発展に最善の努力を尽くしてまいります。

新年度を迎えて

議長

須田 浩和

副議長

黒木 勇



令和3年第1回定例会では、市政運営の基本方針を定める当初予算案などの議案について、慎重に審議し、議決いたしました。

市においては、感染症対策に着手に取り組むとともに、ポストコロナ時代に対応したまちづくり等を推進することとしております。

市議会といたしましても、意思決定機関としての役割を十分に果たし、更なる市政発展と市民福祉の向上に全力で取り組んでまいります。

今後とも、市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

定例会あらまし



会期

3月8日から24日までの17日間

議員質問

- ・ 代表質問 6名 (4~6ページ参照)
- ・ 議案質疑 1名
- ・ 一般質問 19名 (7~11ページ参照)

委員会付託議案

- (1) 各常任委員会、新市民会館整備等調査特別委員会及び新ごみ処理施設整備等調査特別委員会における市長提出議案の審査
- (2) 各常任委員会、新市民会館整備等調査特別委員会及び新ごみ処理施設整備等調査特別委員会の委員長による委員会審査の経過並びに結果の報告 (12、13ページ参照)
- (3) 討論 反対 2名

- 採決の結果、いずれも原案のとおり可決

人事案件

- ・ 市長追加提出の人事案件 4件
- をいずれも同意(3ページ参照)

議員提出議案

- ・ 議員提出の議案 1件を採決の結果、原案のとおり可決 (3ページ参照)

陳情

- (1) 建設企業委員会及び産業消防委員会の委員長による陳情審査結果の報告
- (2) 令和2年陳情第3号を不採択、令和3年陳情第1号を趣旨採択(3ページ参照)
- (3) 陳情の閉会中継続審査を承認

閉会中所管事務調査

- ・ 各常任委員会等からの閉会中所管事務調査を承認

議長選挙

議長 須田 浩和(当選)

各委員会委員の補充選任等

- ・ 建設企業委員会委員の選任
- ・ 各特別委員会委員の補充選任
- ・ 行財政改革調査特別委員会の委員長を決定

委員会等の構成



新議長の選出に伴い、3月24日付で次の委員会等の構成に変更がありました。詳細はホームページをご覧ください。

- ・ 常任委員会 (総務環境・建設企業委員会)
- ・ 各特別委員会
- ・ 会派等 (新生水政改革水戸・県都市民クラブ)



本会議の様子

可決した議案



今定例会で可決した議案から主なものを紹介します。

市長提出議案		計
令和3年度予算	13件	59件
令和2年度補正予算	9件	
条例の制定・改正	30件	
その他	7件	

令和3年度予算(14、15ページ参照)

◆予算総額

2018億7740万円

【一般会計】

1185億1000万円

【特別会計】

545億3840万円

【公営企業会計】

288億2900万円

市民会館条例

新市民会館の設置及び管理に関する条例を新たに制定するもの

下入野健康増進センター条例

下入野健康増進センターの設置及び管理に関する条例を新たに制定するもの

都市公園条例等の一部改正

植物公園において、回数券を廃止し、年間利用券を新設するもの

市税条例

条例の構成の見直し及び規定の明確化を図るため、条例の全部改正を行うもの

消防本部及び消防署の設置等に関する条例の一部改正

消防本部の名称を消防局に変更するもの

工事請負契約の変更

都市計画道路3・4・149号赤塚駅西線道路新設工事について、契約金額を変更するもの

財産の取得

学校教育用大型提示装置について、入札の結果に基づき、取得価格及び契約の相手方を決定するもの

令和2年度一般会計補正予算(11号)

◆補正総額 34億8803万円増
主な事業等

- ・高齢者福祉施設の施設改修に対する補助の拡充
- ・民間保育所等におけるICT化の支援
- ・不妊治療費に対する補助の拡充
- ・農畜産業における経営基盤の強化に向けた施設設備の支援
- ・道路ストックの総点検

・橋りょう長寿命化の設計

・都市計画道路の整備

・公園施設の長寿命化工事

・小学校給食室のエアコン整備

・吉田小学校、酒門小学校及び渡里小学校校舎の長寿命化改良工事

・赤塚中学校校舎のトイレ洋式化

・障害者自立支援給付費の増額

・障害児通所給付費の増額

・私立幼稚園施設型給付費の増額

・企業版ふるさと納税による寄附金を活用した小中学校への図書及び楽器の購入

人事

水戸市教育委員会委員

富田 教代(再任)

水戸市固定資産評価審査委員会委員

石川 啓司(再任)

人権擁護委員候補者

中崎 和美(再推薦)

庄司 園美(再推薦)

議員提出議案

1件

市議会委員会条例の一部改正

消防本部の名称が消防局に改正されることに伴い、常任委員会の所管等の規定を改めるもの

陳情の結果



【採択】

○令和3年陳情第1号 水戸市消防本部南消防署移転改築工事に関する陳情

本陳情については、趣旨を了とし採択とした。

なお、次の意見を付して報告した。

意見

本陳情は、緑地環境の確保を願意とするものであり、将来の影響を考慮したうえで、周辺環境の整備とあわせ、陳情趣旨が達成されるよう努力されたい。

【不採択】

○令和2年陳情第1号※ 国に対し、「刑事訴訟法の再審規定(再審法)の改正を求める意見書」の提出を求める陳情

○令和2年陳情第2号※ 国の責任による「20人学級」を展望した少人数学級の前進を求める陳情

○令和2年陳情第3号 私道路土地の寄附に係る現況図の交付に関する陳情

いずれも、願意に沿いがたく不採択とした。

(※は令和3年第1回臨時会にて議決)

新生水政改革水戸



連携中枢都市圏構想の実現による
広域行政の充実を

Q 少子高齢化、人口減少の加速により、社会保障費の増大など厳しい社会状況が見込まれる。市民サービスの維持向上や地域経済の活性化のためには他の自治体と連携することが重要と考える。中核市移行後、市長は定住自立圏の構成市町村の首長と連携中枢都市圏の形成を目指すことに合意したと表明した。そこで、これまでの協議内容と今後の取組について伺いたい。

A 中核市移行表明を契機に県央地域首長懇話会で連携中枢都市圏の協議を提案し、先進事例の研究や意見交換等を行ってきた。2月に9市町村長の合意に至り、県央地域の更なる発展や持続可能な活力ある都市圏の形成に向け前進した。今後、県央地域の将来ビジョンや重点分野等の調整を進め、令和3年度内の連携中枢都市圏の形成、4年度からの事業実施を目指す。

内原駅橋上駅舎等整備の進捗と
事業全体のスケジュールは

Q 内原駅周辺は鉄道によって南北に分断されており、踏切の危険な横断や慢性的な交通渋滞等の問題が

A JRと施行協定を締結し、昨年9月から着工した。2月末に仮駅舎の供用を開始し、3月から既存駅舎等の解体を始める。コロナ禍の影響でJRの事業が遅れており、令和5年度の供用開始に向け調整している。南口交通広場等の市施工範囲は橋上駅舎等の工事完了後に着手する。また、特急列車の件は管轄するJRに意向を伝える。



整備完了後の内原駅南口(パスス)

その他の質問
○これまで実施したコロナ緊急対策への評価は
○ワクチン接種に係る情報発信と今後の展望は
○厳しい財政状況での予算編成方針と重点施策は
○東日本大震災後の防災対策への評価と今後の方針は
○市の歴史教育における笠原水源周辺の位置付けは

公明党水戸市議会



安心して速やかな
ワクチン接種に向けた体制整備は

Q 新型コロナウイルス感染症の収束に向けた切り札としてワクチン接種が期待されている。本市では23万人超が対象となる大事業であり、ワクチンの確保、接種体制、接種券の配布、市民への周知、基礎疾患を持つかたへの対応等、課題が山積している。可能な限り多くの市民が接種することが極めて重要であることから、市の体制整備や接種計画等について伺いたい。

A 医療機関での個別接種を中心に、常設と巡回の集団接種を行うハイブリッド方式として計画策定を進めている。国からのワクチン配分量は限定的であり、高齢者向けの接種券は4月上旬に郵送するが、接種までに期間を要することも想定される。案内から接種までの流れを個別通知するほか、あらゆる媒体を通して接種に係る様々な情報をわかりやすく周知していく。

市民の利便性を高める
行政手続を

Q デジタル化関連法案が国会審議中であり今後本格的な推進が見込まれる。(1)各種手続での押印の廃止

A (1)40の事務について、申請手続のオンライン化等を導入している。押印については新たに約1000件廃止することにした。いつでもどこからでも手軽にサービスを受けられるシステムの構築を目指していく。(2)交付割合は25%超に上昇した。健康保険証としての利用も積極的に周知するとともに、カード搭載のICチップを利用した行政手続のオンライン化を進める。



マイナンバーカード(見本)

その他の質問
○今後の財政運営と中長期的な財政見通しは
○東日本大震災等を教訓とした防災・減災対策は
○不妊治療、不育症治療への市の助成状況は
○男女平等参画社会の実現に向けた取組は
○ポストコロナでの学びの保障と生きる力を育む教育は

フォーラム水戸



女性の管理職登用への取組状況とクオータ制導入の見解は

Q 日本のジェンダーギャップ指数は先進国中最低クラスにあり、伝統的な社会構造や風習等が男女格差の原因の一つと分析されている。

A まずは、結果平等ではなく機会平等を前提に社会構造を変え、意思決定には様々な要素を持った人が加わるべきと考える。そこで、市の女性の管理職登用への取組状況と行政組織におけるクオータ制^{※1}導入に対する見解を伺いたい。

Q 令和2年4月1日現在、管理職のうち女性は55人で全体の15.4%である。前年より改善されたが、女性職員活躍推進行動計画の目標値22%には届いていない。クオータ制の導入は慎重に検討すべきと考えるが、多様性に富んだ社会の実現に有効な手法であり大変参考になる。制度の趣旨を認識し、人材の計画的な育成と働きやすい職場環境づくりに努める。

教職員の働き方改革と

時間外勤務縮減への取組は

Q 小中学校は広範な業務を担っており、どこまでが教職員の役割か曖昧になっている。中央教育審議会

は、業務を見直したうえで環境整備を積極的に検討すべきと提言した。必要性が乏しい慣習的な業務は廃止し、具体的な目標を設定して業務の総量を削減することが必要と考える。そこで、教職員の働き方改革と時間外勤務縮減への具体的対応について伺いたい。

A これまでの取組により時間外勤務が月80時間を超える教職員の割合は、平成29年度が約32%、令和元年度が約22%、2年度が約11%と減少している。また、新たに教育施策推進協議会を設置し、現場や地域の意見を聴取して教職員の働き方改革基本方針を策定した。この方針に基づく取組として学校弁護士相談事業等を予定しており、事業予算を今定例会に提案した。



女性を対象とした就労支援講座

その他の質問
 ○新型コロナウイルスに係る積極的疫学調査の状況は
 ○フックン接種の方針と情報発信の方策は
 ○オンライン企業説明会の改善策と環境整備支援は
 ○新市民会館運営における自治体負担率の考え方は
 ○GIGAスクール導入に伴う課題と対応策は

魁、水戸



都市核と周辺拠点の魅力をつなぐ新たな循環ルートをつなぐ

Q 3か年実施計画に位置付ける都市核(中心市街地)は、歴史と教育、芸術と商業の魅力を持つエリアであり、さらには、偕楽園・千波湖周辺エリアやスポーツ拠点が近接していることから、これらを手軽に回遊するアクセスを確保することが重要である。新市民会館の整備や通年観光・交流に向け、中心市街地での既存循環バスとイベント時に運行する観光周遊バスを合わせた新たな循環ルートづくりが必要と考える。そこで、小型バスによる早急な試験運行の取組への見解を伺いたい。また、第7次総合計画に位置付けてはどうか。

A 回遊性向上策の一つとして、実現可能性をバス事業者と協議し検討していく。4つの拠点を活用した中心市街地の再生について、3年度に策定を予定する中心市街地活性化基本計画(第2次)に盛り込む。

大河ドラマを機に

農人形像の設置、PRを

Q 大河ドラマ「青天を衝け」の主人公、渋沢栄一翁は徳川慶喜公に仕え水戸学尊王攘夷思想に大きな影響を



農人形像(偕楽園下)

その他の質問
 ○水戸協同病院新病棟建設の進捗と見通しは
 ○古の水戸城址復興と記念事業への見解は
 ○歴史景観を損ねる水戸駅北口の空きビルへの対応は
 ○大町の旧知事公舎跡地利用に係る県との協議は
 ○新市民会館周辺エリアの愛称募集の見解は

受けたことから、水戸にまつわるエピソードが放映されている。徳川斉昭公は尊王攘夷を広めた気性の激しい人物として知られる一方、農本主義を掲げ毎食事に農人形を膳に置き農民への感謝を伝えていたと言われ、農家出身の栄一翁もこの思想に感銘を受けたと想像する。そこで、この機会を捉え、農業関係団体との協働により、水戸城大手門前の広場に農人形像を設置し、その遺徳を広く発信すべきと考えており、見解を伺いたい。

A 農人形を市の貴重な財産として次世代へ継承する必要があると考える。議員提案は有効な方策の一つであることから、地域の意向も十分考慮しながら、市の魅力を高める施策として設置の検討を進める。

※1 クオータ制…クオータ(quota)は割り当てを意味する。会社役員などの女性の割合をあらかじめ一定数に定めて積極的に起用する制度のこと。

県都市民クラブ

須田 浩和

時代等の変化に対応できる 都市理念の制定を

Q 総合計画は、中長期的な視点で将来都市像と都市づくりの基本理念を掲げ、その実現に向け必要な各施策を定めている。しかし、時代の変化や首長の交代等で計画の方向性が変化し、行政の停滞等を招く可能性がある。京都市は、昭和53年に「世界文化自由都市宣言」を政策の最上位の都市理念と位置付け、時代の変遷による様々な変化の中でもこの理念の下に行政運営を行い、市を発展させてきた。そこで、本市においても政治的変化や社会変化にも対応できる、より根幹的な都市理念を制定してはどうか。見解を伺いたい。

A 当計画は行政運営と社会経済活動の指針であり、議会や市民の意見をいただき策定したものである。市民と共有し、ともにつくり上げた第6次総合計画の基本理念に沿って、その実現を目指していく。

県央地域における 広域合併に向けた見解は

Q 県央地域の発展は、県全体の経済的強化のための最重要課題と考える。将来の人口減少が見込まれる

中、公共サービスを持続するため広域合併の必要性を提案してきたところである。現在、本市では中核市移行により保健所業務が移管され、新型コロナウイルス対策業務等を行っているが、県よりも迅速で細かい住民対応ができるなど、大きな利点が実証されている。今後、広域合併を推進し、政令指定都市となることで、更なる財源確保と多業務の移管により、必ず、より良質な市民サービスの提供が可能になると考える。見解を伺いたい。

A 中核市としてリーダーシップを発揮し、都市間協働、連携の一層の推進を図る中で時機を捉え、近隣市町村の意向把握に努めるとともに、将来の政令指定都市を展望した広域合併への取組を進めたい。



本市と周辺自治体(地図)

その他の質問
 ○公共施設の円滑なマネジメントを
 ○市内道路交通網整備の整備方針は
 ○市を中心とした交通インフラ整備の考え方は
 ○5G環境整備に向けた研究や取組状況は
 ○コロナワクチン接種のスケジュール等は

日本共産党水戸市議団

田中 眞己

東海第二原発の 再稼働中止、廃炉の表明を

Q (1)日本原電に対し、広域避難計画の前提となる災害規模と被害想定を提出を求めるとの市長発言があったが、いまだに回答がない。直ちに提出を求めてはどうか。また、計画には多くの課題があり、実効性確保は不可能である。東海第二原発の再稼働中止、廃炉を求めているかどうか。(2)放射性物質を含む汚染水が原発から排出されている。汚染水除去装置の完備を求めているかどうか。また、市内の那珂川の堆積土から放射性物質が検出された。市独自に調査を行ってはどうか。

A (1)日本原電では県等と連携し事故想定を検討していると聞いている。回答があり次第、計画に反映し市民に公表する。課題の対応策を積み上げ、計画の実効性を高める。計画を策定できない限り再稼働はあり得ない。(2)県東海地区環境放射線監視委員会のチェック機能を通じ、市でも厳しく監視を行う。

発達性読み書き障害を持つ 児童生徒への早期支援を

Q 発達性読み書き障害※2を持つ児童生徒は約8%と言われている。令

和2年度の協働事業での講演会では、小学校低学年での早期発見・支援が重要との指摘があった。本市における支援は遅れており、(1)支援拡充に向けた専門の通級指導教室の設置、(2)特別支援教育専門員の配置、(3)教員研修の実施等の市民要望が提出されている。支援の拡充が急務と考えるがどうか。

A (1)小学校での4月開設に向けて県に要望し、回答待ちである。(2)特別支援教育巡回相談を活用し、学校や保護者のニーズに対応している。市独自の配置は必要性を見極め検討する。(3)特別支援学級担当者や初任者、中堅教諭へ研修を行い、資質向上を図っている。今後、教員一人一人が理解を深め、ニーズに応じた支援の充実に努める。



実施された協働事業のチラシ

その他の質問
 ○ワクチン接種に係る実施計画の策定状況は
 ○医療機関等への定期的なPCR検査を
 ○介護保険料の値上げ中止を
 ○新市民会館建設予算の支出中止を
 ○泉町マンション開発への新規補助の詳細は

※2 発達性読み書き障害…学習障害の一種で、知的能力や一般的な理解能力などに特別な異常がないにもかかわらず、文字の読み書きをなかなか習得できない障害のこと。



偕楽園表門通り

その他の質問

- リニューアルする植物公園の有効活用を
- 下入野健康増進センターの詳細を明らかに
- 新市民会館の施設規模と運営方法の見直しを



ペット同行避難(イメージ)

その他の質問

- LINEを使った各種相談業務の拡充を
- 災害時のペット対応マニュアル作成を
- 市営ドッグランへの市の見解は



商工課窓口(市役所5階)

その他の質問

- 生活保護申請を妨げる扶養照会は中止を
- 米価下落防止の取組と市独自の農家支援策を
- 見川幼稚園等の廃止を含む再編方針は撤回を



吉沢市民センター駐車場

その他の質問

- ハナミズキ広場ネーミングライツの募集中止理由は

偕楽園周辺地区を「都市景観重点地区」に指定しては

はざや 谷川 秋慎

Q 偕楽園周辺地区では、観光や交流の拠点を目指し、店舗や事務所、旅館等を建てられるよう用途地域を変更する方針が示された。(1)景観や環境の悪化が懸念されるが、対策をどう考えているか。(2)都市景観重点地区(備前堀沿道地区、弘道館・水戸城跡周辺地区)の現状と課題をどう捉えているか。(3)優れた都市景観づくりの推進に向け、当地区の指定も検討してはどうか。

A (1)建物の高さを10m以下とし、遊戯施設や小規模工場等の用途を制限する。風致地区の建ぺい率や緑化率等の規制も継続する。(2)住民と合意形成を図ったうえで景観基準を定め、建築行為の際の届出や補助金で景観形成を誘導している。主体的な取組の継続が課題である。(3)今回の変更を契機と捉え、住民と意見交換を重ねながら検討する。

災害時におけるペットとの同行避難及び同伴避難は

ながかわ 川理 友

Q 近年、地震や豪雨による水害など、様々な災害が発生している。本市では、避難所へのペット同行避難※3は可能だが、同伴避難※4は受け入れていない。統計上でも犬や猫の飼養頭数は増加しており、ペットの家族化の傾向は強まっている。一方で、様々な人が利用する避難所では、動物アレルギーを持つかたへの配慮等の課題がある。他自治体では、ペット同伴専用避難所を設置した事例もある。そこで、本市でも同伴避難可能な避難所を開設すべきと考えるがどうか。

A 避難生活が長期化する場合に、同伴避難の受け入れも避難所運営マニュアルに位置付けているが、限られた施設での対応が想定されるため、獣医師会や動物愛護センター等と連携を図り、課題を検証し、実効性を高めていきたい。

事業継続特別対策支援金の対象拡大と丁寧な案内を

なかにわ 庭次 男

Q 県の緊急事態宣言発令で飲食店等の事業者は休業を余儀なくされ、家賃が払えないなど深刻な状況と聞いた。市は新たに事業継続特別対策支援金制度を設けたが、前年同月比50%以上売上げ減少が支給要件で、対象期間は1〜3月と限定である。事業者を広く支援するために、(1)支給要件の50%以上減少を10%以上減少に改めること、(2)4月以降も対象期間とすること、(3)申請案内のコールセンターを設置することを求めるがどうか。

A (1)国の持続化給付金の再実施が示されていないことなどを踏まえ、対象となっていた事業者を市独自に支援する。(2)国の制度を参考にするとともに、県の緊急事態宣言期間を考慮して設定した。(3)商工課で丁寧な対応に努める。また、電子申請への対応を今後検討する。

吉沢市民センターにおける駐車場の拡充を

まつもと 松本 久 勝

Q 吉沢地区は、平成16年の議員提案により、調整区域に家を建てるための救済策として広くエリア指定され、急速に発展した地域である。吉沢市民センターでは様々な行事が行われ、多くの住民が集まるが、駐車場が27台分しかないという課題がある。今後も当地区での開発に伴う人口増が見込まれており、駐車場の拡充が早急に必要である。見解を伺いたい。また、市民センターの駐車台数の基準を伺いたい。

A 駐車台数の基準は40台程度としており、当市民センターの駐車台数は基準と比べ不足していると認識している。今後、センター隣地について、所有者に現況等を確認するなど、駐車台数の確保に向けて協議を進めていく。また、既存駐車場のレイアウト見直しについても検討を進め、環境整備に努める。

※3 同行避難…災害発生時に、飼い主が飼養しているペットを同行し避難すること。
 ※4 同伴避難…被災者が避難所でペットを飼養管理すること(状態)。

地域猫活動の実施に向けた見解は

木子 鈴の宣



野良猫(イメージ)

その他の質問

- コロナ禍における移住促進策の取組は
- 災害時の移動式木造住宅建設の協定内容は
- 移動式木造住宅の宿泊体験施設への活用は



国道6号酒門町交差点



市発行の女性情報誌「びよんど」

その他の質問

- 焼却処理されるプラスチック等の再資源化への対応は
- フードバンク活動など食品ロス削減に向けた取組は
- ごみの夜間収集の導入に対する市の見解は



水戸市公式LINE(赤枠:子育てボタン)

その他の質問

- コロナ禍での社会的孤立・孤独問題への対策は
- 防災・減災に気象防災アドバイザーの活用を
- 動画配信等工夫した地域防災リーダーの育成を

※5 地域猫活動…野良猫の被害等に困っている地域住民の合意形成により、地域に息づく野良猫の不好去勢手術を実施したうえで、餌や排せつ物の管理を含めた一代限りの野良猫の世話を住民が行う取組のこと。

Q 地域における野良猫問題の対策に地域猫活動※5という取組がある。広島市では、昨年までの約7年間の活動で、野良猫に関するトラブルをほぼ半減させ、全国的にも顕著な実績を挙げている。本市でも、広島市のような取組を参考にすべきと考える。また、地域で活動を始めるに当たり、行政でも活動を支援していることを周知するとともに、捕獲ゲージやトイレ用物品等の準備や餌代の支援等を行うべきと考える。見解を伺いたい。

A 先進事例を参考に、ガイドラインの作成や事前の説明会への協力など、地域が理解を深めるための取組を進めていく。現在、モデル事業の立ち上げを検討中であり、今後、事業効果の検証を行うとともに、その結果を周知し、よりよい地域猫活動の普及啓発に努める。

国道6号酒門町交差点の立体化に向けた今後の見通しは

原隆 栗の文

Q 国道6号と50号が交差する酒門町交差点の交通量は大変多く、慢性的な渋滞が発生している。また、周辺の生活道路が抜け道に利用され通学中の児童生徒が危険にさらされている。これらの問題を解消するため、地域住民は酒門町交差点立体化の早期実現に向けた協議会を立ち上げ、活動を続けてきた。市長の国への働きかけもあり、2月には交差点立体化に関する記事が新聞に掲載された。そこで、今後どのように進捗するか伺いたい。

A 国の令和3年度新規事業候補箇所を選定されたこと2月26日に発表された。今後、県知事への意見聴取や第三者で構成される委員会等の審議で取りまとめられた評価結果を基に、国の3年度予算に関する国会審議等が行われる。国や県と緊密に連携し、事業を推進する。

女性の活躍推進と就労促進に向けた取組は

藤昭雄 佐

Q 女性の就業率が7割を超える一方で、パートや派遣など非正規雇用労働者として働く女性の割合は5割以上である。今後、少子高齢化が進む社会において、就労の質の改善と女性が活躍できる環境整備を様々な角度から推進する必要があると考える。そこで、離職した後に再就職を希望する女性のための就労支援について伺いたい。

A ハローワーク等と連携して復職に関する講座を実施し、就業に必要な情報提供を行っている。また、自分らしく自由な働き方としての起業について、みと創業支援塾を開催する商業・駐車場公社と連携し、女性起業家の育成に取り組んでいる。今後、より多くの人が参加できるよう、オンラインを含め各事業の開催手法を検討し、引き続き女性の就業を支援していく。

ひとり親世帯への相談支援体制の強化を

森正慶

Q 子育て中のかたからコロナ禍で保護者同士や地域とのつながりが薄れ、子育てに関する情報が届かないとの声を聞く。ひとり親への支援制度は児童扶養手当、就学支援、住宅確保支援など多岐にわたったり、複数の窓口で相談する必要があることから負担が大きく、必要なサービスにたどり着かないことがある。そこで、自動対話システム「チャットボット」等のITやSNSを活用することで、ワンストップで対応可能な相談支援体制、支援策の情報発信を強化し、ひとり親世帯の悩みや孤立感を取り除いていくべきと考えており、見解を伺いたい。

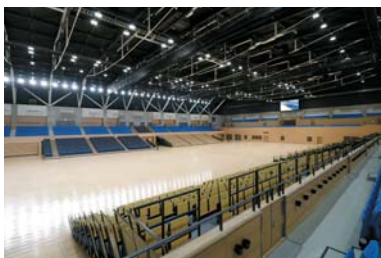
A 公式LINEにおいて子育てボタンからいつでも情報を入手でき、多くの人に登録、利用されている。今後より効果的な手法について他市の事例を調査研究していく。

全国大会等の誘致に向けた 取組内容は

おまつ
大津
りょういち
大亮

Q 市はアダストリアみとアリーナや今後開館予定の新市民会館など、全国大会、コンベンションの開催場所として全国に誇れる施設を有している。そこで、(1)誘致に向けたPRやプレゼンテーションの活動状況、(2)助成制度の内容、(3)施設の利用規程、(4)問い合わせ時の適切な案内の周知徹底、(5)自治体間競争を勝ち抜くための助成額の考え方について伺いたい。

A (1)首都圏団体へのプロモーション活動、スポーツ大会主催者団体への働きかけ等を行っている。(2)コンベンションは最大10万円、全国規模の大会は最大55万円を支援する。(3)大会規模により先行予約等の調整を行っている。(4)課題と認識しており、内容に応じ柔軟に対応していく。(5)今後、助成制度の拡充など支援策の充実に検討する。



アダストリアみとアリーナ

その他の質問

- 野焼きの例外の周知やトラブル防止策は
- 森林公園での魅力ある食の提供の内容は
- 森林公園を核とした山根地区の活性化は

分別収集等による ごみの減量化と資源化を

たくち
田口
ぶんめい
文明

Q プラスチック製容器包装の月4回の分別収集が4月から始まる。ごみの更なる減量化と資源化等に向け、(1)ペットボトルや白色トレイの収集回数を増やしてはどうか。(2)固いプラスチック製品を分別収集してはどうか。(3)生ごみのコンポスト利用を促進してはどうか。(4)今後作成するごみ収集カレンダーを各家庭へ配付し、分別区分を周知徹底してはどうか。

A (1)市民の意見や費用対効果等を総合的に勘案し、収集回数増の必要性を判断する。(2)国の動向を注視し、他事例を参考に調査研究を行う。(3)食品ロス削減に取り組みとともに、電気式生ごみ処理機等の一部助成を行っている。(4)市庁舎や出張所、市民センターの窓口等で配付するとともに、HPや公式LINEで情報発信する。



ごみ回収カレンダー

その他の質問

- 市庁舎玄関前の車寄せの通行止め解消を
- 市庁舎前駐車場における渋滞の早期改善を
- 元吉田町大型商業施設エリアの渋滞解消を

新斎場整備事業の概要と 民間活力活用への見解は

いがらし
五十嵐
博

Q 市は第6次総合計画に位置付けた新斎場整備に向け、利用増加が見込まれる状況を踏まえ、基本構想を策定した。(1)新斎場の施設機能や特徴、今後のスケジュール等を伺いたい。(2)他自治体では部分委託や指定管理者制度を導入する例もある。質の高い市民サービスを効率的に提供するため、火葬業務等での民間活力の活用を検討すべきと考える。見解を伺いたい。

A (1)火葬炉4炉、告別・収骨室3室、洋室の待合室5室、一体的に利用可能な小式場と大式場各1室、駐車場268台等を整備する。令和3年度に実施設計を取りまとめ、4年度の着工、6年度中の完成を目指す。(2)厳しい財政状況では有効な手法だが、遺族に寄り添う姿勢や確実性も求められる。他自治体の状況を調査し、検討を進める。



新斎場の外観(パース図)

その他の質問

- 指定管理者制度導入への評価と今後の取組は
- 弘道館・水戸城跡周辺の魅力づくりの推進は
- 千波市民センター移転改築事業の概要と見通しは

ポストコロナ時代における 若者の移住・定住促進の取組は

たくち
田口
よなほ
米蔵

Q (1)人口減少が進む中、都市力を維持するためにも水戸で生まれ育った若い世代が定住することと移住者を呼び込むことが重要である。そこで、これまでの取組の実績を伺いたい。(2)国の調査で東京圏に住む20歳代のうち4割が地方移住への興味を示している。新型コロナウイルスの影響で企業ではテレワークの導入や地方オフィスの設置の動きが見られ新たな人の流れが生まれている。この好機を逃さず、時代に即した施策を進めることが重要であり、今後の取組を伺いたい。

A (1)企業ガイドブックの配布や市内への引越し費用や家賃補助等を行った。直近5年間で799人の増加となっている。(2)サテライトオフィス設置への補助制度を創設するほか、特設HPを制作するなど情報発信力を強化していく。



テレワーク(イメージ)

その他の質問

- ICT社会に向けた行政のデジタル化の取組は
- 地域おこし協力隊の活動状況と支援は
- 水稲メガファーム事業の導入に対する見解は

敬老会事業の見直しの検討状況と市の関与は

飯田正美



赤塚地区敬老会

その他の質問

- 市営河和田住宅建て替えに伴う土地の有効利用は
- 企業誘致のための新たな用地確保策は
- 進出しやすい区域の設定と環境整備の見解は

Q (1) 敬老会事業は年々招待者が増加し運営面の負担が大きくなる一方で、令和元年度の出席率は約12%にとどまっている。事業の現状と課題、市の関与を伺いたい。(2) 社協ではその課題を協議し、新たな事業案を作成するために在り方検討会を設置した。十分議論することが重要であり、これまでの検討状況と今後について伺いたい。(3) 今後は市の主催事業として委託事業により実施してはどうか。

A (1) 式典の開催を見送って記念品の送付のみとする地域が増えている。市と社協の補助事業として地域できめ細やかに運営していただいている。(2) 社協が中心となり1月に立ち上げた。委員の様々な意見を踏まえ、3年度中に検討を進める。(3) 地域主体の活動が望ましいと考えており、今後も補助事業とする。

飯富・国田・渡里地区における交通環境の早期整備を

小泉二康



国田大橋西交差点付近の交通渋滞

その他の質問

- 乱開発から農地を守る新たな方策の検討を
- カワチ渡里店前(市道五中線)交差点の安全対策を
- 茨城大周辺の自転車利用環境整備とルール啓発を

Q (1) 市道飯富150号線の整備遅延等により、国田大橋方面から国道123号線に面する交差点付近で交通渋滞が連日発生している。市道整備の進捗を伺いたい。(2) 渋滞緩和策として、当該交差点への左折指示器の設置を水戸警察署に要請してはどうか。(3) セツ洞公園付近の市道国田11号線は地元通勤等に利用されているが、幅員が狭く車両のすれ違いも困難である。利便性及び安全性の向上を図るための整備について見解を伺いたい。

A (1) ①用地交渉が難航している。今後も交渉を重ね早期完成に鋭意努力する。②有効と考える。現地調査を行い、水戸警察署と協議する。(2) 地元の合意形成等の課題がある。地元の状況や当線起点側の幹線市道35号線の整備の進捗等を勘案し、必要性を含め検討していく。

新市民会館は計画を見直し市民のための文化施設に

土田記代美



旧市民会館での市民ミュージカル公演

その他の質問

- 東海第二原発の廃炉を求める表明を
- 老朽化した学校施設改修の加速化を
- 給食や開放学級の民間委託の中止を

Q (1) 新市民会館で公演が催されれば大きな収益があるようなミスリードがされているが、公演による収益は主催者のものであり、市民会館への収入は、固定された利用料金×日数のみである。現計画では需要がなく、稼働率は見込めないがどうか。(2) JTB総研の調査で、公演とセットの観光ツアーを利用したくない。公演だけに行きたい。」と答えた人が半数近い。劇場施設は、公演のついでに観光やまち歩きをする場所ではなく、経済効果や回遊性を期待すること自体、観点がずれているのではないか。(3) 市民利用の枠組みがない料金設定だが、誰のための市民会館なのか。

A (1) 70%の実現は十分可能である。(2) 産業連関表を用い波及効果は48億円超と試算した。(3) 同規模の施設から算定した適正な設定である。

コロナ禍における市民生活教育活動の現状と今後の展望は

後藤子通



コロナ偏見差別防止の象徴「シトラスリボン」

その他の質問

- 消費者への農業施策の取組と今後の推進は

Q コロナ禍における、(1) 青少年育成推進活動、NPO法人等のボランティア活動、認知症サポーター養成講座及び認知症カフェ、学校生活全般、自治会活動についての現状と今後の展望を伺いたい。(2) コロナ感染症に対する誹謗中傷をしないよう、様々な方面から要望を受けたが、児童生徒による差別等はなかったように感じる。どのように教育を行ったのか伺いたい。

A (1) 感染防止対策を講じたうえでできるだけ各活動の実施に努めている。また、一部オンラインによる活動も行っている。今後も実施手法を検討しながら活動の充実に努める。(2) 各学校で、誰もが感染する可能性があること、友達やその家族がづらい思いをしないよう思いやりの気持ちを持って行動することなどについて指導している。

下市地区開発の方針と 新川の橋の架け替えは



県の迎賓館事業と本市の パークPFI事業の進捗は



水戸協同病院新病棟建設は 5年以内との契約で、約束違反



令和3年第1回 臨時会の概要



Q 下市地区と国道6号に囲まれた市街化調整区域は、近年エリア指定がなされ、宅地化が進んだ。一方で、道路等のインフラ整備は不十分を感じる。(1)今後の地域の更なる発展に向けた計画的なまちづくりに対する市の見解を伺いたい。

A (2)同地区内を流れる新川には、車では渡れない橋がある。住民の利便性向上のため、橋の架け替えを提案する。見解を伺いたい。

Q (1)当地区は浸水想定区域に該当しており、自然災害に対応するため国の法改正等により令和4年4月以降、一部を除き開発行為ができなくなる。現在、対象エリアの見直しを進めており、整理ができ次第、方針を議会に示す。(2)地域に欠かせない橋と認識しており、県との協議や利用状況の把握に努め、車両通行の必要性を検証する。



幅員約1.5メートルの橋(浜田町)



県と市のパークPFI事業用地

その他の質問

- コロナ禍での地域コミュニティの現状と支援策は
- 本市独自の0～2歳児の保育料軽減策への見解は
- 市内業者育成や活性化に向けた発注の在り方は

Q 県が進める借楽園月池周辺地区での迎賓館構想について、特別委員会に県の幹部職員を招き事業概要を聞いた。市が進める黄門像広場周辺地区のパークPFI事業とは重複せず、市も十分な調整を行っているとの説明だったが、飲食、物販機能の整備において類似する部分があると感じている。借楽園千波湖周辺地区のにぎわい創出に向け重要な事業であるため、それぞれの進捗状況と県との連携に対する見解を伺いたい。

A 市の事業に応募意欲があった企業全てが夏以降の事業実施を望んでいる。公募のタイミングは適切な時期を判断し特別委員会に諮る。県の事業についてもコロナ禍の影響によりスケジュールに遅れが出ていると聞いた。県と緊密な連携を図り着実に事業を推進していく。

Q 市とJA厚生連は平成26年4月に売買契約し、新病棟の建設に向け28年度に着工、30年度に完成という、5年以内との契約であった。また、当時の駐車場収入は、1億400万円余(24年度市決算)であった。しかし、約7年が経過したが、いまだに建設の見通しが立っていない。質の高い地域医療サービスの提供は市の責務であり、議会には現状を調査してただす使命がある。今後、JA厚生連との約束は守られるのか。早期建て替えを強く要請すると同時に今後の見通しを明確にされたい。

A これまで病院建設の具体的な計画の再提示を求めてきた。昨年12月にJA厚生連の方針を確認し、水戸協同病院の医療提供機能を継続させる考えは変わりないとの回答を得た。今後も強く要請していく。



水戸協同病院

議案質疑

- 赤塚駅西線工事費用増額の詳細と完成への見通しは

2月16日に開催し、新型コロナウイルス感染症に係る緊急対策(第6弾)について補正措置を講じる議案及び報告を、原案のとおり可決、承認しました。

令和2年度一般会計補正予算(9号)
◆補正総額 16億1300万円増
・新型コロナウィルスワクチン接種体制確保事業

令和2年度一般会計補正予算(10号)
◆補正総額 11億840万円増
・感染症対応協力医療機関に対する支援

・保育所等の感染拡大防止対策
・小中学校の学習支援・感染症対策の強化
・GIGAスクールの加速化(第2弾)

・事業継続特別対策支援
・経済振興・子育て支援プレミアム商品券発行事業(第3弾)

また、令和2年陳情第1号及び令和2年陳情第2号を不採択としました。(3ページ参照)

建設企業委員会



令和3年度一般会計(建設企業委員会所管分) 当初予算

主な質疑 狭あい道路及び認定外道路の整備基準、新たな工業用地確保のための調査委託内容、水戸駅北口駅前広場エレベーター改築工事の工期、市街地整備推進事業に基づく上市254号線及び上市259号線の整備状況、街路整備事業費の内訳及び整備スケジュール、千波湖浄化経費の内訳、市営住宅長寿命化対策事業の工事概要など。

主な意見 (1)水戸駅北口駅前広場エレベーター改築工事については、歩行者に対する十分な安全対策を講じたうえで整備を図られたい。(2)防災まちづくり優良建築物等整備事業については、予算やスケジュール等を3か年実施計画において明確にし、事業の推進を図られたい。また、子育てまちなか住宅取得補助事業等と連携し、入居者の確保に努められたい。(3)都市計画道路3・3・30号赤塚駅水府橋線は一部が通学路となっていることから、円滑な用地取得に努め、早期整備に向け事業を推進されたい。(4)市営城東住宅エレベーター改修工事に当たっては、住民に対する事前説明を実施するとともに、安全対策を徹底されたい。

賛成多数

新ごみ処理施設整備等調査特別委員会



下入野健康増進センター条例(設置及び管理に関すること)

主な質疑 下入野健康増進センターにおける指定管理料の考え方や市外居住者が利用する場合の料金負担など。

主な意見 施設の設置目的を踏まえ、障害者や高齢者が利用する際の料金負担について配慮されたい。

全会一致 賛成

総務環境委員会



令和3年度一般会計(総務環境委員会所管分) 当初予算

主な質疑 市民1万人アンケートの実施方法、公共交通空白地区における住民の移動手段の確保に向けた施策、町内会・自治会の加入促進事業の概要、斎場待合室の改修事業の概要、旧清掃工場の解体及び跡地の利活用に係るスケジュール、水戸黄門漫遊マラソンの開催方法や内原ヘルスパーク空調設備整備事業のスケジュール、歳入における新型コロナウイルス感染症による市税収入等への影響や臨時財政対策債の取り扱いなど。

主な意見 (1)町内会・自治会の加入促進事業については、未加入世帯への周知方法など、効果的な手法を検討されたい。(2)コロナ禍においても、安全面に十分な配慮を行い、スポーツ大会等を開催できるようにするため、各種競技団体の支援に努められたい。(3)体育施設の設備整備に当たっては、市民利用の支障が最低限となるよう配慮されたい。

賛成多数

新市民会館整備等調査特別委員会



市民会館条例(設置及び管理に関すること)

主な質疑 新市民会館の施設ごとの利用料金と減免の考え方、類似施設との比較、指定管理者の指定に係るスケジュールなど。

主な意見 (1)利用料金の減免基準については、早急に内容を精査し、委員会に報告されたい。(2)新市民会館は芸術文化の振興に寄与する重要な施設であることから、早期完成に向け、地域住民に十分配慮しながら鋭意事業を推進されたい。

賛成多数

産業消防委員会



令和3年度一般会計(産業消防委員会所管分) 当初予算

主な質疑 U J I ターン・若者定着応援事業の実績及び今後の方針, 農林水産業費予算の減額要因, 農業経営継承支援事業の制度概要及び実施目的, ナラ枯れ対策事業における被害の調査方法, 中心市街地活性化に資する事業等の実績及び周知方法, サテライトオフィス等開設促進事業の利用見込みなど。

主な意見 (1)コロナ禍におけるオンライン合同企業説明会の需要の増加を踏まえ, 今後の開催状況を見極めながら必要に応じた予算措置を講じられたい。(2)農業振興を目的とする各事業の実施に当たっては, 第三者継承を含む新規就農者や認定農業者等の担い手の確保・育成に向け, 着実に推進されたい。(3)ナラ枯れ対策事業の実施に当たっては, 今後具体的な被害の把握に努め, 事業効果を適宜検証されたい。(4)まちなか空き店舗対策事業に係る補助制度については, 下市地区における利用実績を検証するとともに, 制度の周知方法等の改善に努められたい。(5)中心市街地店舗, 事務所等開設促進事業については, 補助制度の利用実績が減少していることから, 制度の在り方について再度検証されたい。(6)サテライトオフィス等開設促進事業の実施に当たっては, 利用希望者が見込み件数を超えた場合においても弾力的な対応に努め, 必要に応じた予算措置を講じられたい。(7)商工行政については, 引き続き, 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者の支援に努めるとともに, 中心市街地活性化基本計画(第2次)の策定に当たり, 計画区域となる重要エリアを見極め, 本市の経済再生に向けた施策の検討に鋭意取り組まれたい。(8)観光行政については, N H K 大河ドラマで注目される本市の歴史や文化について, 機会を逃すことなく全国へ発信するとともに, 整備が完了した弘道館・水戸城跡周辺地区等の観光資源を最大限に活用した取組を推進されたい。

全会一致 賛成

文教福祉委員会



令和3年度一般会計(文教福祉委員会所管分) 当初予算

主な質疑 生活困窮者自立支援事業の概要, (仮称)西部いきいき交流センター整備事業の進捗状況, 市民センター子育て広場事業の概要, 生活保護費の積算根拠, 医師就学資金貸与事業の概要及び実績, ゲートキーパー養成講座の概要, 休日夜間緊急診療所の運営実績及び経費増額の理由, 学校弁護士相談事業の概要, A E T の採用計画, タブレット端末の運用方法, 小中学校トイレ洋式化事業の完了見込み, ヒカリモの保存・活用事業の予算額及び今後の取組など。

主な意見 (1)民生委員の高齢化や成り手不足は大きな課題であることから, 関係団体と連携を図りながら, 十分な対策を検討されたい。(2)敬老会事業については, 地域コミュニティの活性化を図りながら, 敬老会事業在り方検討委員会の協議状況も踏まえ, 改善策を検討されたい。(3)待機児童解消に向けて, 増加傾向にある企業主導型保育事業の動向も踏まえながら, 市全体としての保育事業の在り方を検討されたい。(4)子ども会については, 加入率の低下が顕著であることから, 今後の在り方について十分検討されたい。(5)新型コロナウイルスワクチン接種事業については, 基礎疾患を持つかたの確実な把握に努めながら, 市民が安心して接種できるよう, 万全な体制を構築されたい。(6)新たに導入する集団健診の事前予約制を着実に推進し, 受診率向上及び円滑な受診体制の構築に努められたい。(7)タブレット端末等の導入効果を十分に高めるため, 各学校における活用状況を把握し, 適宜指導を行うなど, 適切な進行管理に努められたい。(8)I C T 教育関係機器の維持管理については, 契約更新期に運用方法を再検討するなど, 将来的な事業費の縮減に努められたい。(9)学校給食の安定供給のため, 共同調理場における非常用食品の配備等の対応策を検討されたい。

賛成多数

企画総務部門

- ★市民1万人アンケートの実施 600万円
- 自転車通行空間の整備 5,200万円

市民協働部門

- ★町内会・自治会の加入促進事業 410万円
- 千波市民センター移転改築事業 2億2,150万円
- ★内原ヘルスパーク空調設備整備事業 2億7,000万円
- 健康増進等施設整備事業 9億9,300万円
(下入野健康増進センター)

生活環境部門

- ★新たなし尿処理施設の整備に向けた検討 900万円
- 資源物収集の充実 7,840万円
- 旧清掃工場の跡地利活用 2,600万円

福祉部門

- ★(仮称)西部いきいき交流センター整備事業 1億3,800万円
- 結婚新生活支援補助 1,500万円
- ★子どもの発達支援の充実 160万円



子ども発達支援センター五軒分室

保健医療部門

- 子ども医療福祉費の助成 7億7,000万円
- 新型コロナウイルス感染症対策事業 2億9,000万円
- ★集団健康診査及びがん検診における予約制の導入 281万円

産業経済部門

- ★サテライトオフィス等開設促進事業 1,500万円
- 市場再整備事業 4億5,900万円
- ★(仮称)水戸芸術館東地区駐車場整備事業 8億4,020万円

都市建設部門

- 道路新設改良事業 12億7,577万円
- ★新たな工業用地確保のための調査委託 650万円
- 内原駅周辺地区整備事業 4億7,580万円

消防部門

- 南消防署移転改築事業 6億5,700万円

教育部門

- ★学校弁護士相談事業 40万円
- ★笠原小学校校舎増築事業(2期) 3億3,200万円
- ★吉沢小学校校舎増築事業 2億1,600万円
- ★酒門小学校長寿命化改良事業(2期) 1,000万円
- ★渡里小学校長寿命化改良事業 2億7,000万円
- ★石川小学校長寿命化改良事業 3,860万円
- ★飯富小・中学校整備事業 250万円
- ★小学校給食室空調設備設置事業 1,905万円
- ★A Iドリルと連携した学びの診断 411万円

★は新規事業 ※金額は当初予算額を表す。

令和3年度の市政運営の基本方針及び市の予算については、広報みと(令和3年4月1日号)の特集もご覧ください。



令和3年度歳入歳出予算

1 予算編成の基本方針(令和3年3月8日本会議 市長提案理由説明から)

「令和3年度予算については、国及び地方の財政運営方針を踏まえ、みと魁プランの積極的な推進をはじめ、ポストコロナ時代に対応する新たなまちづくりの推進、水戸ならではの地方創生の推進、行財政改革の着実な推進、持続可能な財政基盤の確立という5つの基本方針の下、編成を行いました。

新型コロナウイルス感染症の影響等により、市税収入が大幅に減少する極めて厳しい財政見通しの中、市民生活の安定化を図るため、教育や子育て支援、防災・減災対策など、市民サービスの更なる充実に取り組むとともに、本市の飛躍に資する事業を着実に推進することとしました。

そのため、全庁一丸となって徹底した行財政改革に取り組むとともに、聖域を設けることなく、全ての施策の優先順位を厳しく精査し、限られた財源を真に必要な分野に重点的に配分いたしました。」



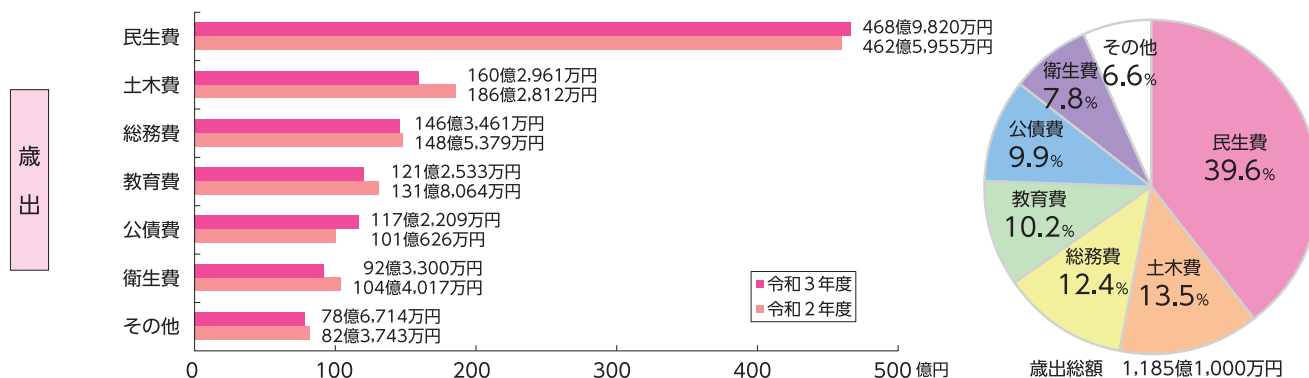
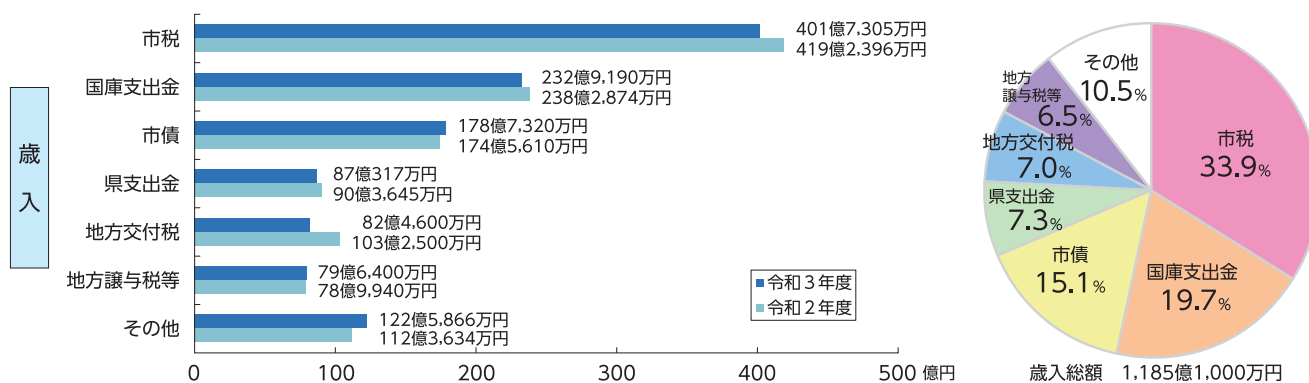
高橋市長

2 予算の規模等

(1) 予算の規模

区分	令和3年度	令和2年度	増減	増減率(%)
一般会計	1,185億1,000万円	1,217億600万円	△31億9,600万円	△2.6
特別会計	545億3,840万円	532億9,080万円	12億4,760万円	2.3
公営企業会計	288億2,900万円	289億3,430万円	△1億530万円	△0.4
計	2,018億7,740万円	2,039億3,110万円	△20億5,370万円	△1.0

(2) 令和3年度一般会計予算の状況



※金額については、千円以下を切り捨てて表記。

議会日誌

- | | | |
|---|--|---|
| 1/8 総務環境委員会
文教福祉委員会
産業消防委員会
建設企業委員会
全員協議会 | 2/24 文教福祉委員会
産業消防委員会
建設企業委員会
偕楽園・千波湖周辺整備等調査特別委員会
水泳競技施設等調査特別委員会
新市民会館整備等調査特別委員会
新ごみ処理施設整備等調査特別委員会
代表者会議 | 3/18 建設企業委員会
3/19 総務環境委員会
文教福祉委員会
産業消防委員会
建設企業委員会
3/22 総務環境委員会
文教福祉委員会
産業消防委員会
建設企業委員会
新市民会館整備等調査特別委員会
新ごみ処理施設整備等調査特別委員会
3/23 議会運営委員会
新市民会館整備等調査特別委員会
3/24 議会運営委員会
全員協議会
本会議
代表者会議
総務環境委員会
行財政改革調査特別委員会
議会報編集委員会 |
| 1/29 新市民会館整備等調査特別委員会
2/9 議会運営委員会
2/10 総務環境委員会
文教福祉委員会
産業消防委員会
建設企業委員会
新市民会館整備等調査特別委員会
行財政改革調査特別委員会 | 3/1 議会運営委員会
3/4 新ごみ処理施設整備等調査特別委員会
3/5 新ごみ処理施設整備等調査特別委員会
3/8 本会議
議会運営委員会
3/15 本会議
3/16 本会議
議会運営委員会
3/17 本会議
3/18 総務環境委員会
文教福祉委員会
産業消防委員会 | |

議会を見よう

本市議会では、インターネットでの本会議のライブ配信及び録画配信、常任委員会の録画配信を行っています。

また、常任委員会及び特別委員会の会議記録も公開しておりますので、ぜひご覧ください。



議会中継



委員会会議記録

行政文書の開示の実施状況

水戸市議会情報公開制度は、公文書を公開することにより広く開かれた水戸市議会を目指そうとする制度です。

令和2年度情報公開の請求及び決定の件数

請求件数	決定の区分				審査請求
	全部開示	部分開示	不開示		
			うち不存在		
31	31	—	—	—	—

6月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
5/30	31	6/1	2	3 本会議 (常任委員等改選)	4 本会議	5
6	7 本会議 (提案理由説明) 議案説明会	8	9	10	11	12
13	14 本会議 (代表質問)	15 本会議 (代表質問) (議案質疑) (一般質問)	16 本会議 (一般質問)	17 常任委員会	18 常任委員会	19
20	21 議会運営委員会	22 議会運営委員会 全員協議会 本会議 (議了)	23	24	25	26

※6月5、6、8～13、19～21日は議案調査

編集委員会

- 委員長 小川 勝夫
副委員長 栗原 文隆
- 委員
滑川 友理 須田 浩和 土田記代美
佐藤 昭雄 後藤 通子 森 正慶
鈴木 宣子 黒木 勇 小泉 康二
大津 亮一

編集後記



水戸市マスコットキャラクター「みとちゃん」

令和3年第1回定例会を開催しました。今定例会では、令和3年度当初予算をはじめとする60の議案について慎重に審議し、議決しました。また、災害対策や経済活性化、デジタル化、教育など、ポストコロナ時代のまちづくりに関する様々な論議を交わしました。

更なる市政発展、市民福祉の向上に向け、今後も執行部と真摯に議論し、二元代表制の一翼を担う意思決定機関としての役割をしっかりと果たしてまいります。

[小川 勝夫、大津 亮一、小泉 康二 記]